



TEMAIRAZU

2026年6月期(第23期)
第2四半期(中間期) 決算説明資料

目次

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1 2026年6月期 第2四半期(中間期)決算ハイライト | 2 ページ |
| 2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開 | 10 ページ |

1

決算ハイライト

1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

1 決算概要

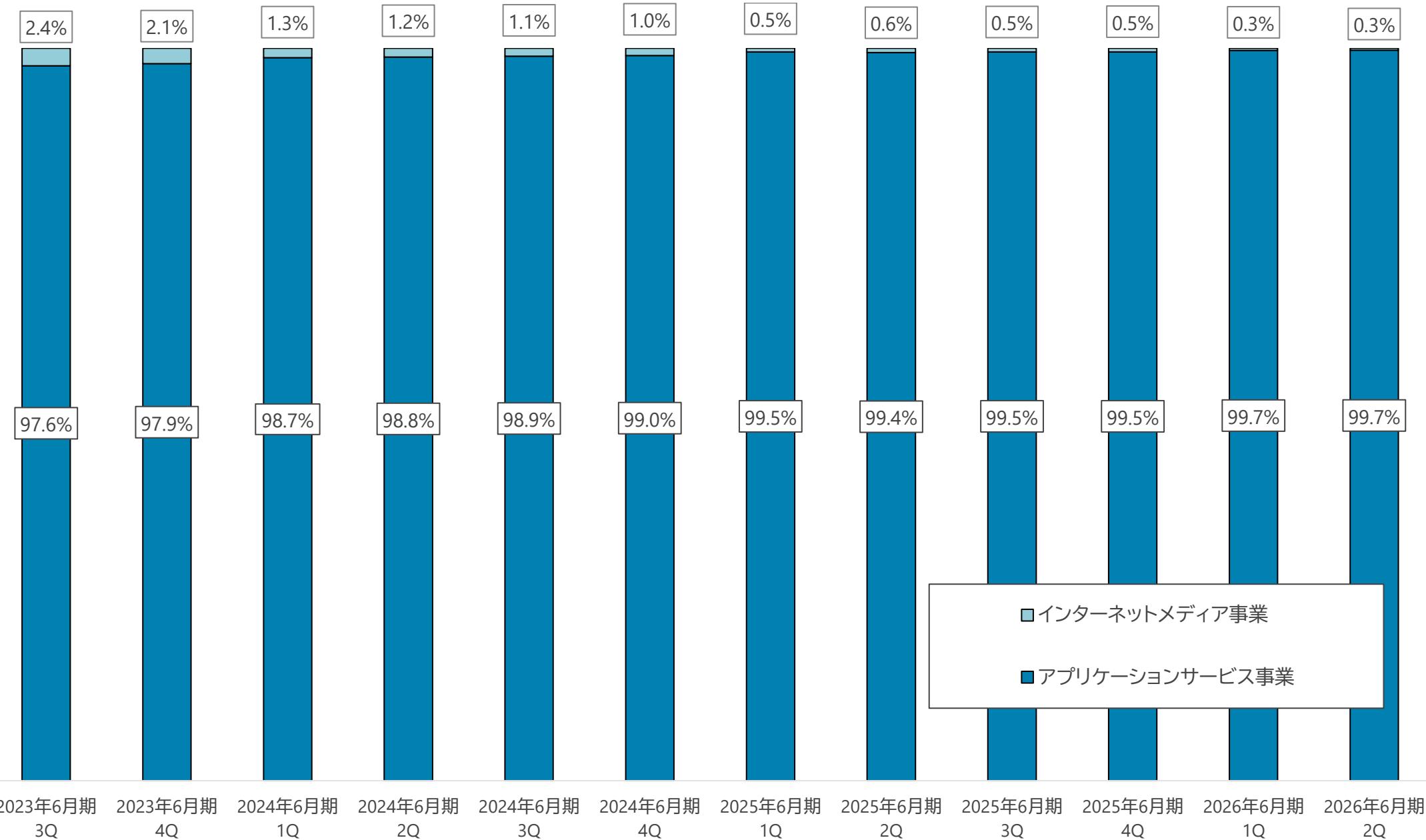
売上高:前年同期比 10.3%増

営業利益:前年同期比 6.5%増

	2026年6月期 第2四半期(中間期)		前年同期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	実績	売上高 利益率			
売上高	1,178,955 千円	—	1,068,453 千円	110,501 千円	10.3%
営業利益	834,891 千円	70.8%	783,680 千円	51,210 千円	6.5%
経常利益	840,538 千円	71.3%	786,876 千円	53,661 千円	6.8%
当期純利益	546,475 千円	46.4%	513,195 千円	33,280 千円	6.5%
1株当たり 当期純利益	88円26銭	—	79円20銭	—	—

1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

2 売上高構成比の推移



1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

3 セグメント別売上高とセグメント別利益

アプリケーションサービス事業は前年同期比で増収増益となり、
全社共通費配賦後の売上高利益率は 71.2%

インターネットメディア事業は前年同期比で減収減益となり、
全社共通費配賦後の売上高利益率は▲61.8%

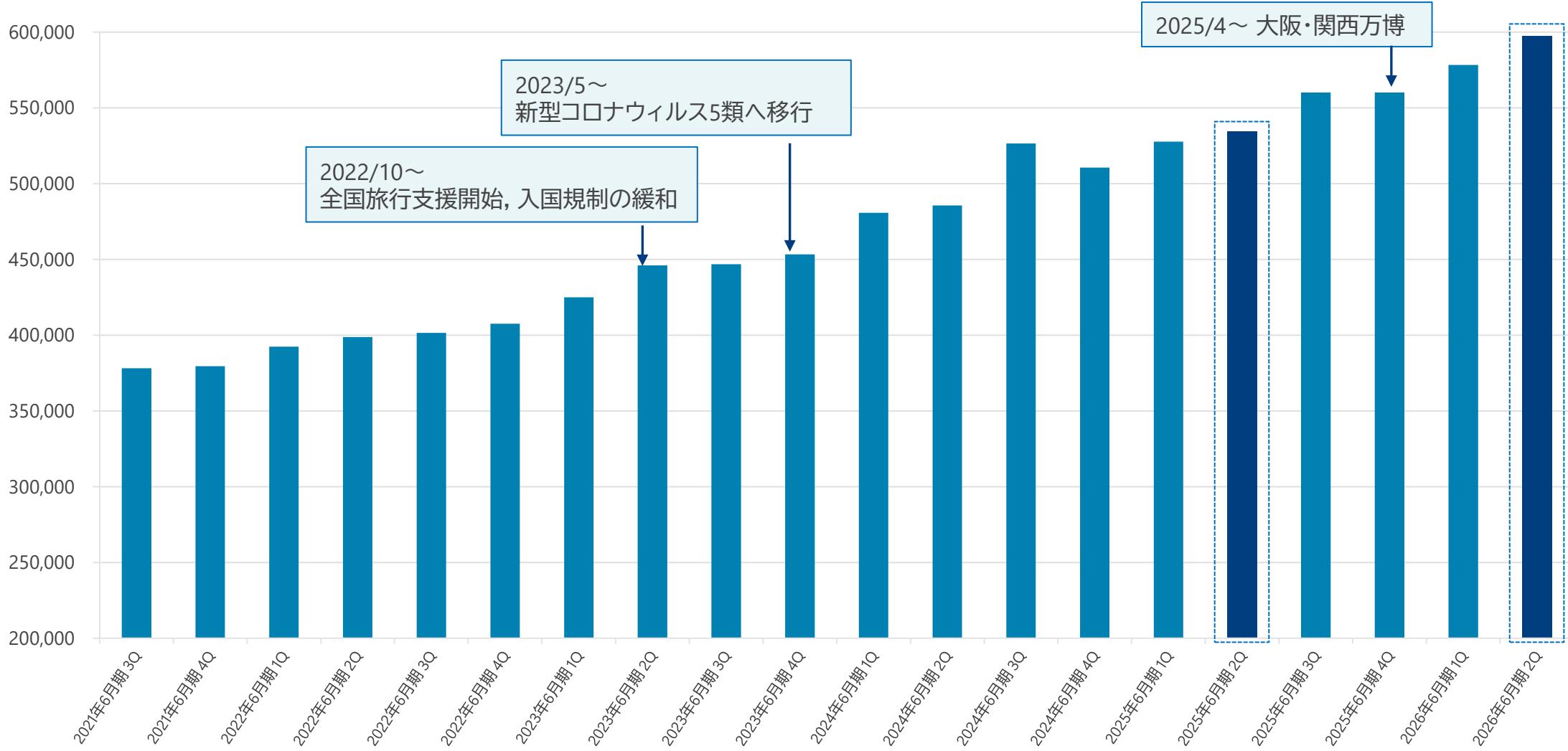
	セグメント売上高	セグメント利益 (全社共通費配賦後)	売上高利益率 (全社共通費配賦後)
アプリケーションサービス事業	1,175,638 千円	923,929 千円 (836,941 千円)	78.6% (71.2%)
インターネットメディア事業	3,316 千円	▲ 982 千円 (▲2,049千円)	▲29.6% (▲61.8%)
調整額	- 千円	▲ 88,055 千円	-
合 計	1,178,955 千円	834,891 千円	70.8%

1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

4 アプリケーションサービス事業の売上高推移

単位:千円

前年同期比: +10.7%

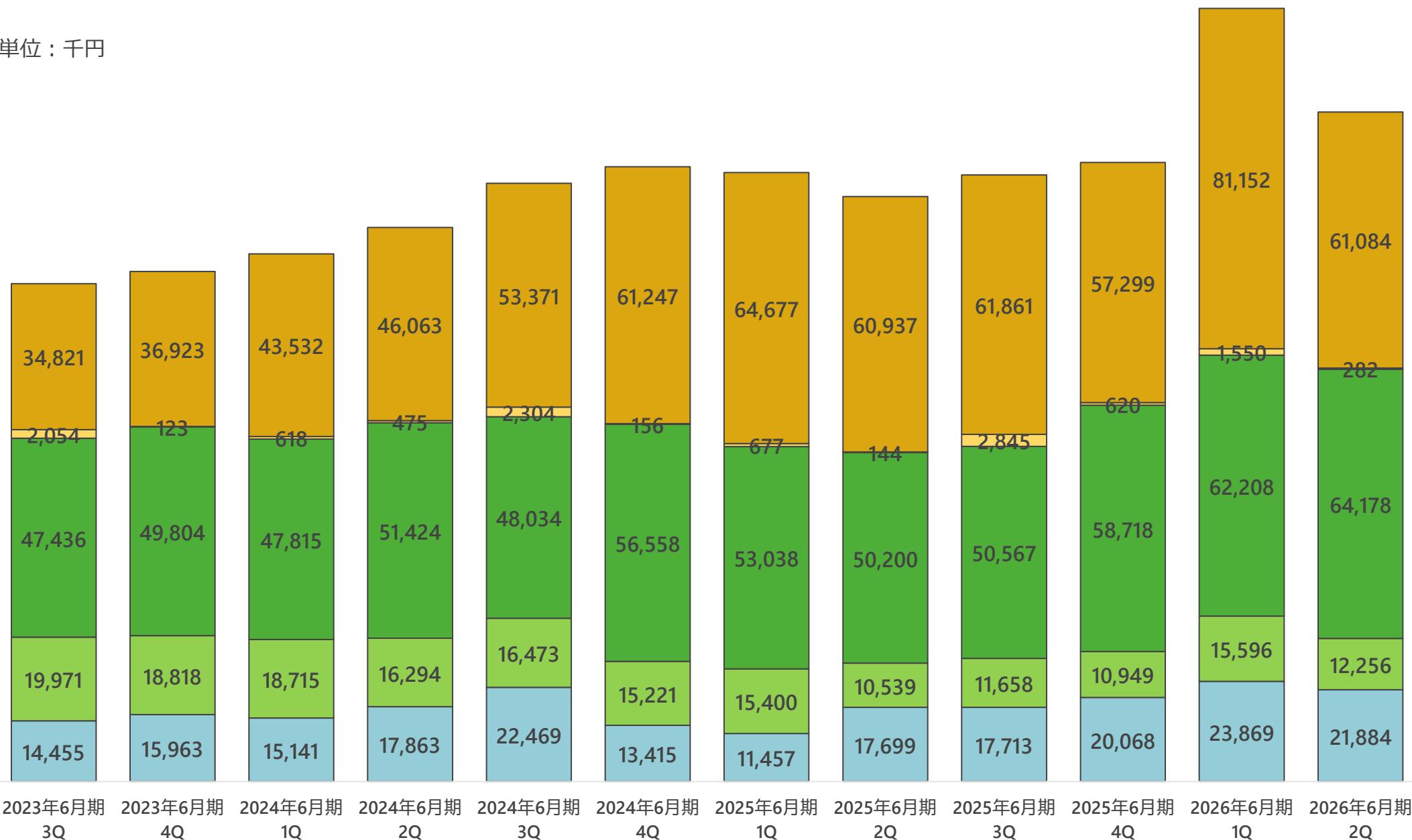


1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

5 売上原価及び販売管理費の内訳

■ 売上原価 □ 広告宣伝費 ■ 人件費 □ 支払手数料 □ その他

単位：千円



1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

6 通期業績予想に対する実績

	2026年6月期 第2四半期	2026年6月期 業績予想	進捗率
売上高	1,178,955 千円	2,365,312 千円	49.8%
営業利益	834,891 千円	1,640,170 千円	50.9%
経常利益	840,538 千円	1,654,250 千円	50.8%
中間純利益	546,475 千円	1,108,348 千円	49.3%
1株当たりの当期純利益	88円26銭	176円51銭	-

1 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算ハイライト

7 貸借対照表

	前事業年度末 (2025年6月30日)	当四半期末 (2025年12月31日)	主な増減
現預金	6,588,033 千円	6,378,758 千円	▲ 209,275千円
その他流動資産	556,429 千円	635,166 千円	売掛金 預け金 20,324千円 55,855千円
固定資産	73,609 千円	85,337 千円	繰延税金資産 8,571千円
資産計	7,218,071 千円	7,099,261 千円	-
負債	449,668 千円	471,918 千円	未払金 24,682千円
純資産	6,768,403 千円	6,627,343 千円	中間純利益 剰余金の配当 ▲ 546,475千円 自己株式 ▲ 144,418千円 ▲ 543,212千円
負債・純資産計	7,218,071 千円	7,099,261 千円	-
自己資本比率	93.8%	93.4%	-

2

事業報告

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

1 セグメント別事業概要

アプリケーションサービス事業



TEMAIRAZU

**宿泊予約サイトコントローラー
『TEMAIRAZU』シリーズの
開発・提供**

国内の宿泊施設に対して宿泊予約サイトを
一元管理する宿泊予約サイトコントローラー
『TEMAIRAZU』シリーズを開発・販売。

インターネットメディア事業



比較サイト『比較.com』の運営

顧客誘導サービス

広告主のウェブサイトへユーザーを誘導し、成約件数に応じた手数料収入を得る。

情報提供サービス

保険や引越しの各種見積もり・資料請求等に応じた手数料収入を得る。

広告

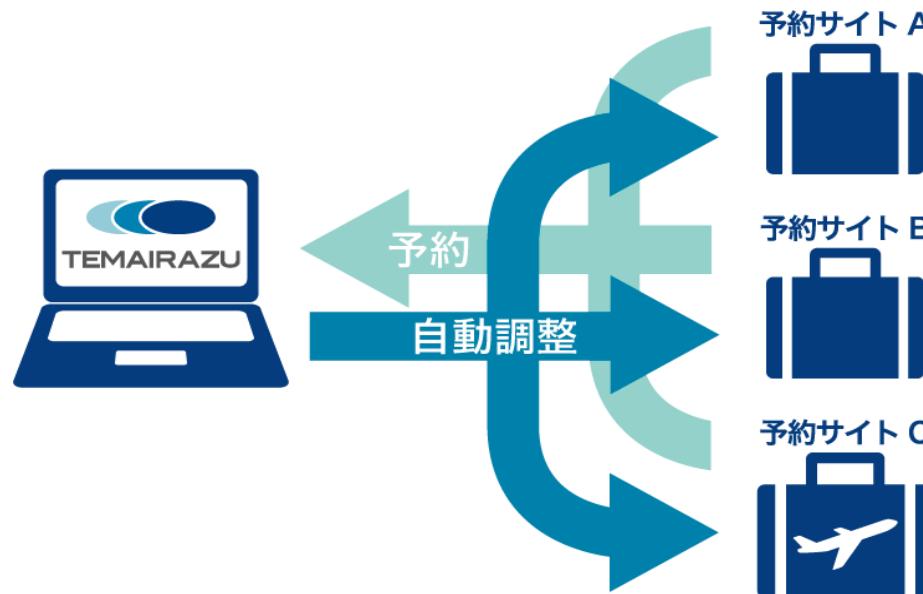
バナー、テキスト、記事コンテンツ等の広告を販売する。

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-1 アプリケーションサービス事業の事業報告

宿泊予約サイトコントローラーは、宿泊予約サイトの情報を一元管理するサービスです。

宿泊施設様にとって販売チャネルの拡大、稼働率の向上による収益アップと、管理業務の自動化による人手不足への対応、コストの削減が可能となります。



複数の宿泊予約サイトも
操作一つで簡単管理

在庫や料金の管理を一括で行い、面倒な管理業務から解放。宿泊予約サイト管理の業務フローを統一化し、管理コスト削減。

スピーディー＆自動更新で
オーバーブッキング抑止

予約情報の取得を行う間隔が短く、素早い在庫調整が可能。急な予約が入った場合でも、一括で各宿泊予約サイトの部屋を手仕舞い可能。

インターネット接続
できる環境があればOK！

インターネット経由での使用のため、施設・本部等場所を問わず管理可能。専用サーバでの情報管理のため、故障等による急なPCの買い替えでも同じアカウントで利用可。

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-2 アプリケーションサービス事業について

『手間いらず！』サービス開始

予約サイトコントローラ



新型予約サイトコントローラ
『手間いらず.NET』誕生

新型予約サイトコントローラ



施設様と共に進化し続ける
『TEMAIRAZU』へ



手間いらず 自動



手間いらず mini

2002年、インターネット上で宿泊予約サイトが登場して間もなく、宿泊施設の予約台帳管理の課題を解決するために予約サイトコントローラ『手間いらず！』が誕生しました。当初はインストール型アプリケーションとしてスタートし、複数の宿泊予約サイトを一元管理できるシステムとして多くの施設様にご利用されてきました。

2010年にはASP型の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』が誕生し、インターネットに接続する環境であればどこでも予約管理ができる便利さにより、これまで以上に有用性の高いシステムとなりました。さらに、国内の宿泊予約サイトはもちろん、自社宿泊予約システムや海外宿泊予約サイト、ホールセラー、リアルエージェントといった販売チャネル側の連携にも多数対応するとともに、宿泊施設管理システム(PMS)、中央予約システム(CRS)といった各種システムとの連携も可能となり、インバウンド集客の拡大などを背景として活用場面が大幅に拡大しました。

現場の皆様からの貴重なご意見を賜り、様々な機能追加や改善を行い2015年に新生『TEMAIRAZU』の提供を、2016年7月からはさらに進化した『手間いらず.NET 2』『手間いらず YIELD』を提供開始しました。宿泊施設様の様々なニーズに応えるとともに人手不足に対応するソリューションとして、2020年3月には小規模施設での利用に便利な新バージョン『手間いらず mini』を、2024年2月には料金在庫管理アルゴリズムの自動化を可能にした『手間いらず自動』をリリース。これからも宿泊施設様とともに『TEMAIRAZU』はあり続けます。

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-3 アプリケーションサービス事業の事業報告

宿泊施設の販路拡大:宿泊予約サイト等との連携

『Be.』

10pct.株式会社が提供する、自社公式サイト向けの予約エンジン『Be.』とのシステム連携を開始。宿泊施設における直販予約の強化と、自社ブランディングを踏まえた販売プラン設計が可能となり、販売チャネルの多様化と収益性向上に貢献。

『旅色』

株式会社旅色トラベルが運営する、旅のストーリーや世界観を重視した旅行電子雑誌「旅色」の宿泊予約サービスとのシステム連携を開始。編集記事や特集コンテンツから宿泊予約への自然な導線を構築することで、旅のテーマ性を重視する顧客層への訴求力を高める。

『ResortWorx』

株式会社リゾートワークスが運営する、旅行・リゾート分野に特化した福利厚生サービス『Resort Worx』とのシステム連携を開始。法人向け会員制チャネルを通じてリゾート滞在やワーケーション需要を取り込み、平日やオフシーズンの稼働率向上に寄与。

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-3 アプリケーションサービス事業の事業報告

業務効率化・利便性向上を図るためのシステム連携

『DerbySoft』

全世界300以上のオンラインチャネルに接続可能なプラットフォームであるDerbySoftとのシステム接続を開始。海外オンライン旅行代理店やメタサーチサイトを含む広範なネットワークへの一括接続により、グローバル市場での効率的な在庫配分と価格訴求が可能に。

『Tiket.com』

インドネシア最大手のオンライン旅行代理店『Tiket.com』とのシステム接続を開始。成長著しい東南アジア市場、とりわけインドネシアからの訪日旅行需要をダイレクトに取り込むことで、アジア圏インバウンドのさらなる拡大が期待できる体制を構築。

『Oracle OPERA Cloud』

Oracle Corporationが提供するホテル向けプロパティマネジメントシステム『Oracle OPERA Cloud』とのシステム連携を順次開始。クラウド型PMSとの連携により、多拠点・多ブランドを展開する宿泊事業者の業務効率化とデータの一元管理を支援。

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-3 アプリケーションサービス事業の事業報告

業務効率化・利便性向上を図るためのシステム連携

『D-EDGE CRS』

D-EDGE社が提供するクラウドベースのセントラルリザーバーションシステム『D-EDGE CRS』とのシステム連携を開始。自社サイトや各種オンライン販売チャネルを統合管理できるCRSとの連携により、料金・在庫・プラン情報の一括制御を可能とし、複雑化する販売戦略への柔軟な対応を実現。

『G3 RMS』

IDeas社が提供するレベニューマネジメントシステム「G3 RMS」との連携機能を拡張・強化。需要予測に基づく価格最適化とダイナミックな在庫管理を組み合わせることで、繁閑に応じたレベニューマネジメントを高度化し、客室単価と稼働率の両面から収益最大化を図る体制を整備。

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-4 アプリケーションサービス事業の事業報告

アプリケーションサービス事業における売上高の構成:

- 月額固定収入(月額基本利用料やオプション利用料等)
- 月額変動収入(予約数に応じた通信料等)

状況:

■ 月額固定収入

- ✓ 解約率は低い水準を維持
- ✓ 施設の新規開業等に合わせた新規の引合いが活発

■ 月額変動収入

- ✓ 堅調な宿泊需要により、月額変動収入が増加

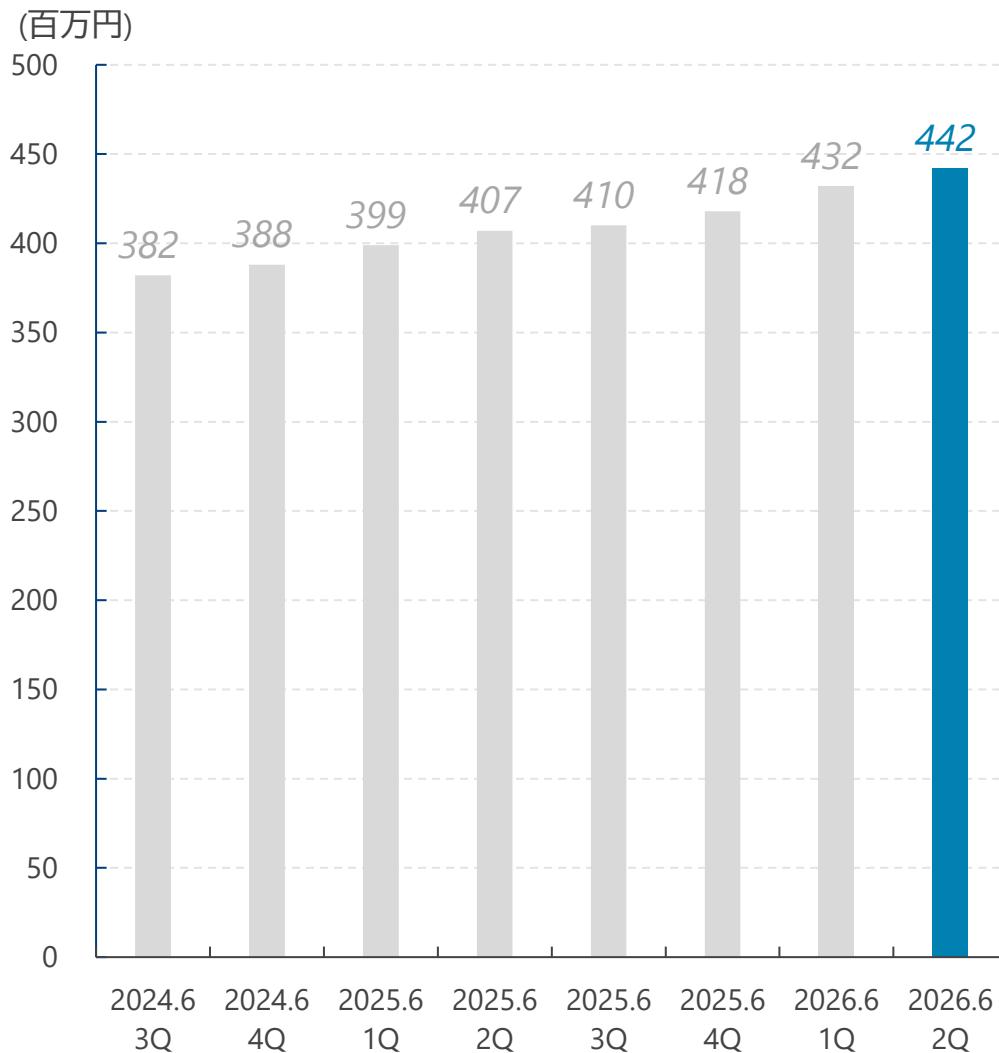
2026年6月期 第2四半期 実績

■ 月額固定収入	875百万円	74.4%(前年同期比+8.6%)
■ 月額変動収入	275百万円	23.4%(前年同期比+18.6%)
■ その他の収入	26百万円	2.2%

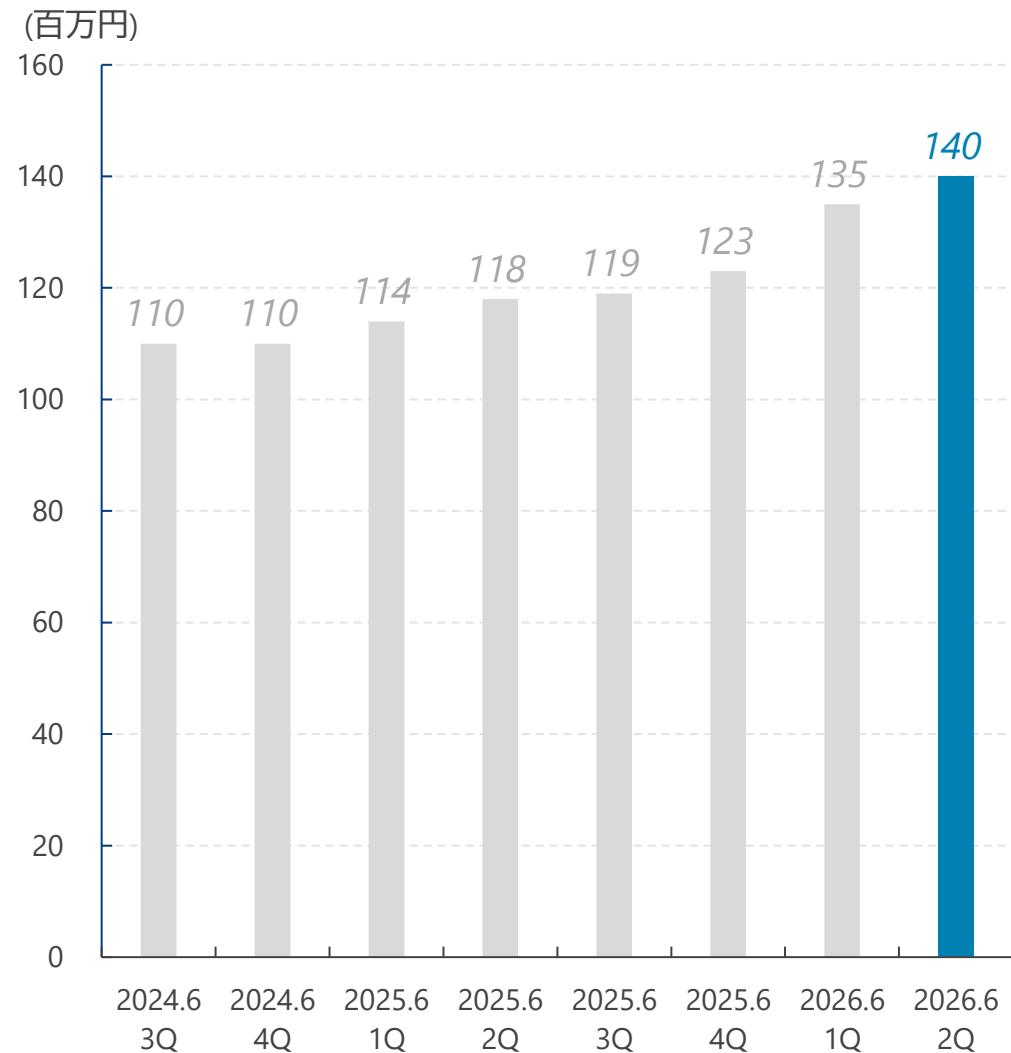
2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-5 アプリケーションサービス事業の事業報告

月額固定収入



月額変動収入



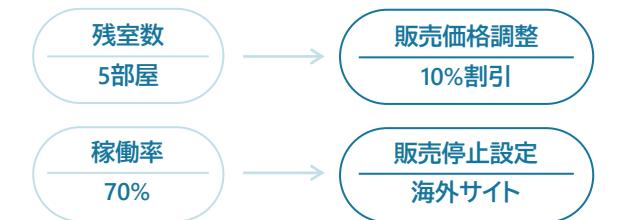
2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-6 アプリケーションサービス事業の事業報告

宿泊業界における人手不足の課題解決のため、レベニューマネジメント等に関わる業務の自動化を実現。業務効率化とコスト削減によって宿泊施設の利益を最大化する『手間いらず 自動』を2024年2月にリリース。

●料金調整を自動化

ルール設定で自動適用



ターゲットプライス 販売チャネル自動調整

1

2

●連泊制限を自動化

レベニューの最適解



LOS & ハードルレート

●最安値確認を自動化

ベストレート保証



ベストレートチェック サーバイ

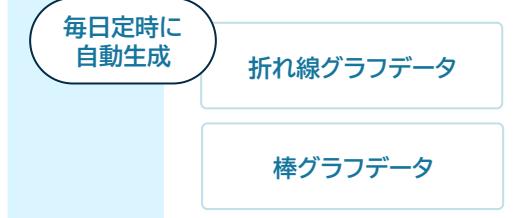
3

4

手間いらず 自動

●報告業務を自動化

オリジナルレポート



オリジナルレポート ブッキングアナリティクス

日別予約状況(予約サイト)
日別予約状況(部屋)
前年比 / 前前年比
プランランキング
リードタイム
ブッキングカーブ

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

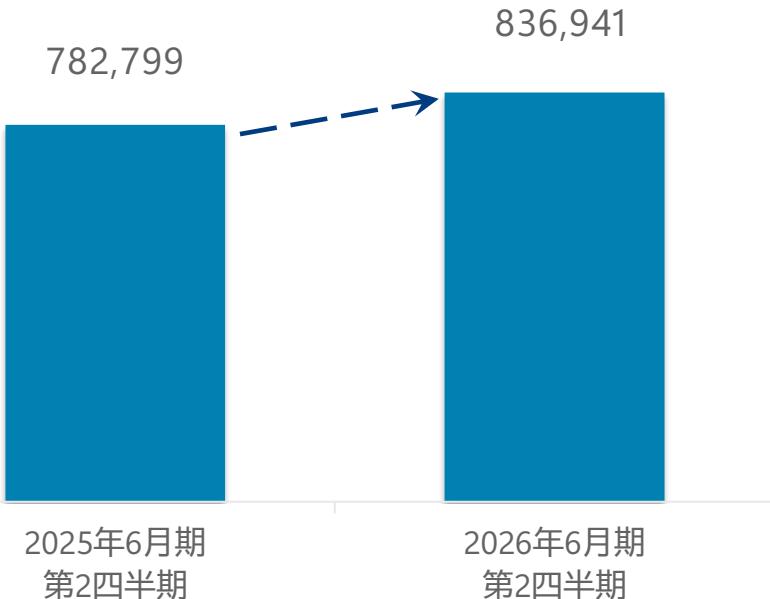
2-7 アプリケーションサービス事業の事業報告

セグメント利益(全社共通費配賦後)



前年同期比 +6.9%

単位:千円



【Topic】

- 宿泊予約数の増加
 - ✓ 旺盛なインバウンド需要を背景に、日本国内の延べ宿泊者数も前年比増加
- 解約率は低水準を維持

2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開

2-8 アプリケーションサービス事業の今後の事業展開

- ・ 堅調な宿泊需要に対応
- ・ **手間いらず 自動** を中心としたTEMAIRAZUシリーズの機能拡充
- ・ 宿泊施設の収益確保に繋がる、国内外の販売チャネルとの接続拡大
- ・ 業務効率化に貢献する各種システムとの連携強化

販売チャネルとの連携

多様なシステムとの連携

営業力・開発力の強化

TEMAIRAZUの
機能強化

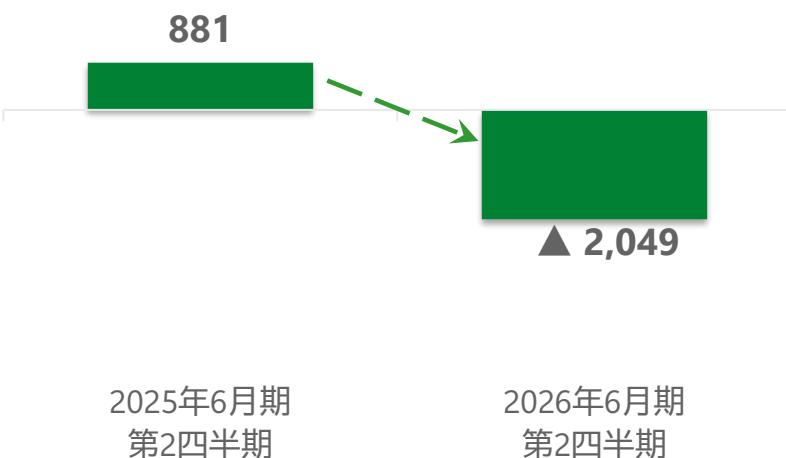
- 2 2026年6月期 事業報告と今後の事業展開
- 3 インターネットメディア事業の事業報告

セグメント利益(全社共通費配賦後)



前年同期比 ▲332.5%

単位:千円



(Topic)

- 検索エンジンのアルゴリズムの影響を受け、サイトのトラフィックが減少
- 以下対策を継続的に実施
 - ・ 検索エンジン最適化
 - ・ ユーザーインターフェイスの改善
 - ・ モバイルユーザビリティの向上

会社概要

商号	手間いらず株式会社		
英文名	Temairazu, Inc.		
設立年月日	2003年8月4日		
決算月	6月		
資本金	718,580 千円(2025年12月31日現在)		
発行済株式数	6,480,961 株(2025年12月31日現在)		
株式売買単位	100株		
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル7F		
証券コード	2477(東証スタンダード)		
監査法人	有限責任監査法人トーマツ		
主要サイト	コーポレートサイト	https://www.temairazu.co.jp/	
	『TEMAIRAZU』	https://www.temairazu.com/	
	『手間なしマーケティング』	https://mrk-srv.temanasi.jp/	
	『比較.com』	https://www.hikaku.com/	

決算説明資料についてのご注意

当資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性もあることをご了承ください。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。

IRに関するお問い合わせ

手間いらず株式会社 経営企画室

TEL : 03-5447-6690 Mail : ir@temairazu.com

投資家向け情報

<https://www.temairazu.co.jp/ir/news>

プレスリリース

<https://www.temairazu.co.jp/press>